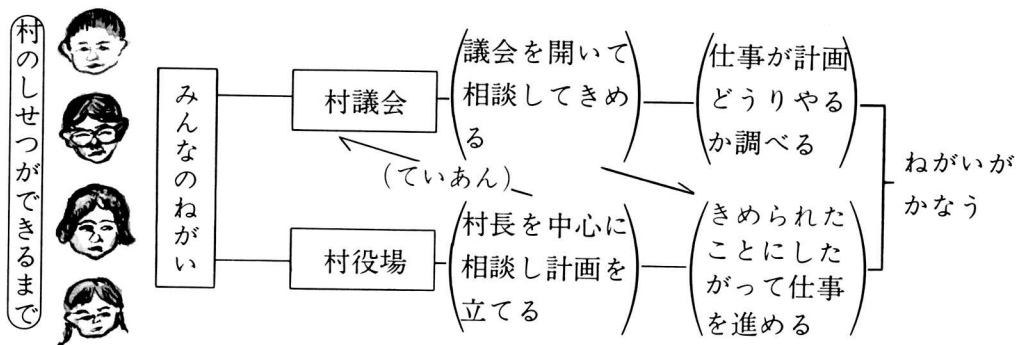
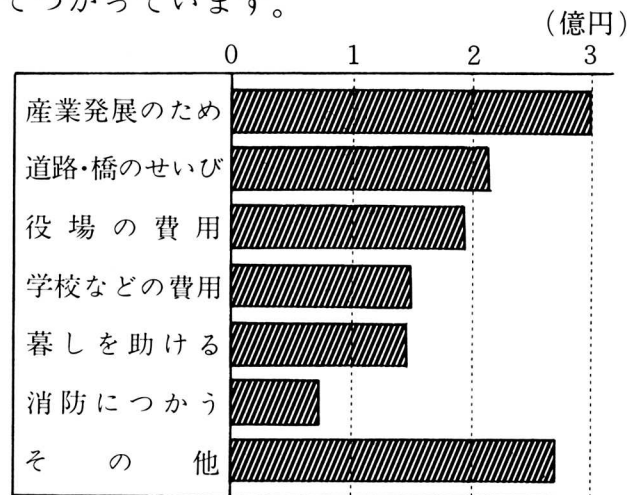


○村でつかうお金（昭和56年）

村の人々の生活をよくするために、役場では、年間につかうお金の予算を立ててつかっています。



○東村村民体育館^{かん}のできるまで

村の多くの人たちが、バレーやバスケット、バトミントンなどを、雨が降ってもできる場所がほしいと思っていました。そこで、村長さんをはじめ、議会の議員さんたちが相談して、^{よきん}予算を立てました。大きな建物を建てるのには、たいへんなお金がかかるので、国から^{ほしよ}補助をしてもらったり、県からお金をかりたりしなければなりませんでした。総工費1億2,960万円のお金で、昭和54年3月に完成しました。